

耐震診断・補強リニューアル設計の最適解をご提案します。

南海大地震の発生が懸念されるなど大地動乱の時代に、命を守り、平穏な生活を持続するために、建物を大災害から守るお手伝いをさせていただきたいと願っています。

古い建物でも耐震性能向上をあきらめないでください。

耐震補強の実施を考えても、いろんな条件で、耐震診断・耐震補強はできない・・・とあきらめないでください。

ご一緒に、耐震性能向上の方法を探り出してまいります。

建物には

良好な機能、美しさ、耐久性そして安全な構造性能が求められます。

建物は立地、用途、使用の特色などで求められる要素はそれぞれ異なります。

一つとして同じ建物はありません。

ですので、耐震診断・補強計画の解答は多様にあると言えますでしょう。

その中から一つの最適解を求めていきます。

的確な耐震診断、補強計画は構造解析だけでできるものではありません。

立地、用途、機能性、美観、耐久性、構造性能などを総合的に調査評価し、的確な判断をすることがとても重要です。

野々瀬建築都市設計事務所は、計画、意匠事務所として建物を総合的に調査判断し、適切な耐震工法を選択しながら、全国から優秀な構造設計者をパートナーとして起用して耐震診断し、最適解の補強計画・補強設計に取り組み、皆様の信頼に応えていきます。

□弊社が導入している新耐震改修工法の例

①ピタコラム工法

徳島で最初にピタコラム工法を導入して共同住宅の耐震補強改修をしました。居住者が居ながらの補強工事を実現するためでした。その後、幼稚園などの教育施設の耐震補強にこの工法をつかいました。

②木造の耐震補強工法では、徳島では最初に「耐震ポール」導入して、居ながらの補強をしました。

③SRF工法の採用に取り組んでいます。多様な耐震改修を実現できる新しい構造技術です。従来あきらめていた耐震補強を実現できる可能性がある工法として注目しています。

以上の他にも適切な工法の採用に積極的に取り組んでいきます。一般的な耐震壁やブレースの工法で可能な補強は一般工法で、それでは解決できない補強は新工法の採用で解決することに取り組み皆様の期待に応えていきます。

是非、当社HPの「ご意見・ご相談窓口」からメールでご相談ください。お待ちしております。